

2024年の主な出来事

【1月】

- 1日 相良町災害公営住宅入居開始
- 14日 人吉市消防出初式
- 23日 石川県輪島市への職員派遣（～5/30）

【2月】

- 3日 人吉球磨のひなまつり（～3/31）
- 4日 青井被災市街地復興土地区画整備事業・445号改築事業着工式

【3月】

- 22日 「鹿目の滝」熊本県指定名勝に指定
- 30日 湯前線開業100周年記念フォーラム

【4月】

- 1日 西瀬コミセン供用開始
- 6日 球磨川くだり「清流コース」再開
- 19日 紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業安全祈願祭
- 23日 ランバーやまと人吉工場起工式
- 26日 LOCAL TO LOCAL 株式会社（矢岳町）と包括連携協定を締結

【5月】

- 1日 くまりばの温泉の営業再開
- 10日 グランドピアノ寄付贈呈式

【6月】

- 17日 住みよさランキング2024発表
- 25日 くま川鉄道管理機構設立総会
- 30日 令和2年7月豪雨犠牲者追悼式

【7月】

- 1日 令和2年7月豪雨犠牲者追悼献花（～7/4）
- 21日 かわまちづくり「川の安全教室」

【8月】

- 15日 人吉花火大会
- 20日 第1回復興まちづくり推進会議
- 21日 第1回復興まちづくりデザイン推進会議
- 24日 犬童球 溪頭彰音楽祭（～11/17）

【9月】

- 13日 かわまちづくり計画登録証伝達式
- 20日 くまろんフェア（～10/20）

【10月】

- 9日 おくんち祭（神幸式）
- 18日 人吉市中学生みらい議会
- 20日 人吉市総合防災訓練
- 27日 人吉温泉まつり

【11月】

- 2日 大畑小学校創立150周年記念式典
- 15日 東洋ライス株式会社（東京都）と包括連携協定を締結
- 17日 SL人吉お披露目式
- 30日 SL人吉・鉄道フェス2024（～12/1）

【12月】

- 8日 人吉駅伝大会

令和2年7月豪雨から4年 復興に向かって

住まいとコミュニティ形成の場が完成

1/1



◀入居開始した相良町災害公営住宅

4/1

▶移転新築工事が完了し供用開始した西瀬コミセン



青井地区と紺屋町で土地区画整理事業に着手

「人吉市復興まちづくり計画」に基づき、令和10年度までに生活道路を円滑に避難できる道路として改良し、一時避難場所となる公園の整備なども行います。

土地の利活用がしやすくなるだけでなく、まちの防災性・安全性の向上も見込まれます。

2/4



◀青井被災市街地復興土地区画整理事業と国道445号改築事業の着工式

4/19

▶紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業の安全祈願祭



復興まちづくりを推進する新体制がスタート

各復興事業の総括的な意志決定機関となる「復興まちづくり推進会議」と、デザインの統一や事業間の調和を図る「復興まちづくりデザイン会議」を設置しました。

8/21

▶第1回復興まちづくりデザイン推進会議を開催



2024年の 主な出来事

おかえり！SL人吉

誕生から百年以上の時を経て、今年3月に引退したSL人吉。「最後は人吉に帰ってきてほしい」という市民の皆さんの思いが伝わり、3月24日にJR九州が本市への譲渡を発表。輸送や組立、塗装などを終えて11月18日に一般公開を始めました。

SL展示までの動き

3/23	ラストラン
3/24	運行終了式典
10/1・2	輸送
11/17	お披露目式
11/18～	一般公開



11/18



人吉市消防出初式

1/14



4年ぶりの出初式をアクアパーク多目的広場で開催。人吉大橋付近の球磨川河川敷では、21台の消防ポンプを使った一斉放水を行いました。

球磨川くだり「清流コース」再開

4/6



「球磨川 川開き祭」が4月6日に開かれ、豪雨災害以降運休が続いていた球磨川くだりの「清流コース」が3年9カ月ぶりに再開しました。

LOCAL TO LOCAL株式会社と包括連携協定を締結

4/26



地域振興に関する計画の企画・立案や地域ブランドづくりなどを行うLOCAL TO LOCAL株式会社（矢岳町）と包括連携協定を結びました。

くまりばの温泉の営業再開

5/1



豪雨災害で被災し、休業していたくまりばの温泉を人吉球磨のヒノキを使ってリニューアル。約4年ぶりに営業を再開しました。

住みよさランキング2024で初の総合1位

6/17



東洋経済新報社が全国の都市を対象に毎年公表している「住みよさランキング」が発表され、本市が初めて総合1位に輝きました。

大畑小創立150周年記念事業

11/2



12月に創立150周年を迎えた大畑小。11月2・3日に記念式典と記念祭を開催し、児童がお祝いの言葉や合唱で感謝を伝えました。

今年も広報ひとよしをご愛読いただきありがとうございました。2024年のさまざまな行事や出来事の中から、編集室が選ぶ主なものを紹介します。